

令和4年度 小規模多機能型居宅介護「サービス評価」総括表

| | | | | | |
|------|-------------------|-----|--------|-------------------|---|
| 法人名 | 株式会社 ウェルフェアネット | 代表者 | 平山 正明 | 法人・ 事業所 の特徴 | 「あるがままに 楽しく ゆったりと」の家訓のもと、17年目を迎える。併設のグループホームと共に利用者さんが住み慣れた地域で自分らしく暮らせるように、本人や家族の思いに寄りそったケアに努めている。 |
| 事業所名 | さわやか憩いの家春日 | 管理者 | 光武 祐一郎 | | |

| 出席者 | 市町村職員 | 知見を有するもの | 地域住民・地域団体 | 利用者 | 利用者家族 | 地域包括支援センター | 近隣事業所 | 事業所職員 | その他 | 合計 |
|-----|-------|----------|-----------|-----|-------|------------|-------|-------|-----|----|
| | 1人 | 人 | 4人 | 人 | 人 | 3人 | 人 | 人 | 人 | 8人 |

| 項目 | 前回の改善計画 | 前回の改善計画に対する取組み・結果 | 意見 | 今回の改善計画 |
|----------------|--|--|--|--|
| 1. 事業所自己評価の確認 | ・「見える化」の追加を行う。 利用者のケアプランの一覧表を作って貼りだし、実行に努める。 | 「見える化」の追加を行う。利用者のケアプランの一覧表を作って貼りだし、実行に努めることを目標。 年間を通して実際にケアプランの実行と記録が増えた。利用者さんの生活の質の向上に繋がっていると思われる。 | 様々な見える化への工夫により、利用者さんを知る（理解する）ための情報の共有と、利用者さんの「～したい」目標達成に向けてのケアプラン実施への意識向上が履かれていると感じました。 玄関まわり、その他駐車場がきちんとしてあり、まわりもいつも清潔にしております。 | 改善計画をスタッフルームに貼り出し目標に取り組む 「見える化」の改善 ・情報の仕分け ・物の整理整頓 を通して、利用者さんへの的確な支援につなげる |
| 2. 事業所のしつらえ・環境 | ・R3年度の総括表と自己評価のまとめを本人と家族へ配布し、アンケートを実施しR4年度へ活かしていく。 | 実際に総括表と独自のアンケート（自己評価の9項目ごとの感想とその他に分けて）を全利用者さんへ配布を行い、6名のご家族より返信を頂いている。 ※詳細は以前の資料に記載 | 最期まで住み慣れた場所（地域）で過ごすことを実現していることは素晴らしいと感じます。市内の他の事業所でも「みとり」ができると良いなと感じます。 ⑨人権・プライバシーについて ヒヤリハットや事故報告については、スタッフ自身（個人）ではなく、全体としてのルール、手順、体制を話しあう方がよいかと。 | 対面での会議が再開したら、推進会議の参加者の皆さんに事業所の様子を実際にみて頂く。（会議後でも別日に個人的にでも大丈夫です） R4年度も利用者さんにご家族へアンケートを実施する。 |

春日市健康推進部
高 齢 課
- 5 3 24
第 号

| | | | | |
|----------------------------|--|---|---|---|
| <p>3. 事業所と地域のかかわり</p> | <p>・クリーン作戦や防犯パトロールなど感染予防しながら参加出来る地域行事に参加していく。</p> | <p>地域の行事は勤務表にも組み込み、参加できるものは積極的に行った。特に運動会や餅つきなど利用者さんと一緒に参加できる行事が地域でも多くなったので、利用者さんも楽しめたと思う。また音楽鑑賞も喜ばれる利用者さんが多く、定期的にいろいろな場所に参加したいと思う。</p> | <p>少しずつ地域の活動、行事に活気がもどり、利用者さんも参加できる機会が増えてよかったですと思います。コロナ禍で試行錯誤されながら、取り組まれたことが伝わりました。 地域の行事は行けるスタッフで行きましょうというアバウトなものだと、結局誰も参加しなかったという結果に終わりがち、ということをしっかり理解され、勤務表に組み込むという方法を取られたのは素晴らしいと思いました。</p> | <p>地域行事は年間通して勤務表に入れ、利用者さんと一緒に参加していく。事業所開催の行事は地域の方をお招き出来るよう対応を検討していく。</p> |
| <p>4. 運営推進会議を活かした取組み</p> | <p>・地域と事業所を繋ぐために、まずは会議の参加者の皆さんのお顔と名前を一覧にする。 ・ヒヤリハットの集計と報告は継続し、ご意見を活かして再発防止に努める</p> | <p>地域運営推進会議の ZOOM 画面を使って一覧を作成しようとしたが画像が荒く断念した。来年度は改めて写真を直接撮らせて頂き、一覧を作る予定。 ヒヤリハットについては集計と意見を活かしているが、似たようなケースがまだ多い部分もある。見える化を取り入れて改善に繋げる予定。</p> | <p>本当の意味での「顔の見える関係」づくりのためにも、できれば対面での会議がもてると思います。 ヒヤリハットについては、件数が多いほど気付きがあるかと思います。ぜひ分析頂いて改善につなげてください。</p> | <p>地域運営推進会議はオンライン、また集合して行うスタイルも前向きに検討していく。 出来るだけ多くのスタッフが会議に参加する。また、参加者の方々のお顔と名前の一覧を作成する。 ヒヤリハットの集計と報告は継続し、「見える化」を取り入れて改善に繋げる。</p> |
| <p>5. 事業所の防災 ・災害対策</p> | <p>・R4年度のBCP計画の完成 ・災害や感染症の訓練と予防は行いながら、緊急時に必要な物品を揃えていく。</p> | <p>BCP 計画は一旦作成は出来た。あとはこれを基に訓練を行い、計画を改善していく。 年2回の法定訓練とは別に、小規模訓練を取り入れている。火災や地震以外に感染症や機器の取扱い方などの訓練を行い、減災・防災に繋げている。</p> | <p>BCP は策定してからがスタートです。随時改善をすすめて下さい。法定訓練以外にも行われている訓練について、他の事業所にも共有できればよいかと思います。</p> | <p>完成したBCPを基に訓練を行い、R6年度に向けより良い物にするため見直しを行う。 小規模訓練を毎月行うことで、スタッフ一人一人の防災意識の向上に努める。</p> |